



# 東京金山会通信 No.43

問い合わせ

東京金山会 広報担当 (藤山善夫)  
☎080-5525-0435  
✉fujijama.d.siren@ae.auone-net.jp

## 山形県人・東京連合会 参加報告

去る9月4日、令和4年度 第84回山形県人会東京連合会総会・県人まつりが、東京都千代田区のホテルニューオータニで開催されました。東京金山会からも、最上地域ふるさと連合会の一員として計4名で参加いたしました。

東京金山会総会と同じく3年ぶりに開催。第一部の総会では、同会石澤会長からの「果たして何人の参加が見込めるのか、不安があったが、開催することの意義を感じた。多くの方々に出席いただき、何よりの喜び」との挨拶があり、続いて来賓の吉村山形県知事が祝辞のなかで「連合会がふるさと山形の応援団として支援・協力されていることを心強く思う」と謝意を述べられました。

第二部では「県人まつり」として、歌謡ショー、花笠踊りの演目。山形県が誇る県産品の数々の抽選会など、コース料理とともに、盛大なものとなりました。



▲会場・ホテルニューオータニ (東京・千代田区)

## 参加者のコメント

例年なら900人くらいの出席者ですが、3年ぶりの今年は500人弱でした。和やかで落ち着いた感じの総会という印象を持ちました。準備をされた方のお話のなかで「果たして無事に開催できるのか、どのくらいの人に来てくれるのかずっと不安だった」という言葉があり、印象に残りました。会合の大小はあれ、主催する側の気持ちはどこも同じなんだと感じました。会場では、見知った顔をお見かけすると、何だかとても嬉しく、ホッとしたのを覚えています。



▲会場内の様子

山形県人会としては、次回はコロナ前を超える1000人の参加を目指したいとのこと。さらに活動を盛り上げたい想いですね。東京金山会としても、会の活動が少しでも山形県全体を盛り上げていくことへつながっていただければと考えています。

No.201

## 「森の子ども図書コーナー」

交流サロンぽすと内



「こねずみトトのこわいゆめ」  
(ルイス・パウム/作  
スー・ヘラード/絵 徳間書店)

こねずみのトトは、かいづつに追いかけるこわい夢を見ました。お母さんやお父さんやお兄ちゃんに「どうしたらいい?」と聞くと、みんなは怖い夢を見ないようにするいろんな方法をおしえてくれました。寝る前にあったかいミルクを飲んだり、運動をしてみたり。でも、またかいづつに追いかけるこわい夢を見てしまうトト。勇気を出してくると振り返ると...? こねずみが勇気を出してがんばりながら成長して行く姿を描く微笑ましい絵本です。

謎めいてミステリアスで、どういう結末を迎えるのかなと全く見当がつかず、読んでいてハラハラドキドキしてしまいます。

## 「図書室だより」

中央公民館内 9:00 ▶ 16:00



「夜に星を放つ」  
(津美澄/文藝春秋)

第167回直木賞受賞作。コロナ禍の今読んでほしい小説です。「叶わない未来かもしれない。だけど、もしその未来が来なくても大丈夫なように、僕はもっともっと強くならなかった」進みたくても八方塞がりを感じる瞬間。そんな時にちよっととした人の繋がりが光となって救われる。心にポツカリと穴が空いてしまった人達の物語。



「お医者さんが教える老けない習慣」  
(糸井由里恵/三笠出版)

同じ年齢を重ねていても若々しく見える方、老けて見える方がいるのはなぜでしょう。それは年齢を重ねる時間は同じでも習慣は一人ひとり違うからです。同じ人であってもその日そのときで体調や肌の状態に違いが出てきます。年齢を重ねることを怖がらず、楽しみながら年齢を重ねていきましょう。



## 今月は3冊!

へいわとせんそう (谷川俊太郎)  
汝、星のごとく (凧良ゆう)  
おいしいごはんが食べられますように (高瀬隼子)

現在、図書室を改善センター内に準備中です。本を借りたい方は、教育委員会にお電話ください。秋の夜長のお供にお気に入りの一冊を見つけてみてはいかがでしょうか。 ☎52-2902

## スポーツの秋



金山町 集落支援員

集落支援員 菅 一生

風の匂いもいつしか秋のものになってきましたね! ランナーには、マラソン大会やスポーツの秋スタートを告げる匂いを感じられます。中学校新人戦や小学校マラソン記録会に参加し、キラキラした眼差しのランナーたちに出会いました。そこで、目標を見据える真っ直ぐな眼や固く握った震える掌、こうしたこみ上げる熱い衝動を呼び起こしてくれる場面を目の当たりにしました。プラスのエネルギーに満ち溢れた子どもたちや健康運動教室の元気な皆さんとスポーツをしていると、そのエネルギーが私自身を突き動かすものとなってくれます。また、ひたむきに頑張るその姿が周りにも伝わり、誰かの背中を押してあげているのではないかと、と活動をしていて感じます。たくさんの方の元気をいつもありがとうございます!

大会や目標に向かうまでの過程で様々な問題と葛藤の中、選択と判断を行っていたと思います。「自分の判断が正しかったのか問



Facebookの活動を発信しています! ぜひチェックしてください!

違っていたのか、それは選んだ先で正しかったと思えるような行動をしたのかどうかで決まるものではないだろうか」

学生時代に指導いただいたコーチの言葉です。当たり前のことですが、こうした思考もどこか頭の片隅にあってくれば良いなあと、練習に取り組む子どもたちの姿を見てふとそんなことを思いました。

これから来る冬の季節も、町内の屋内施設を活用して、寒さに負けずどんどん身体を動かしていきたいでしょう!

## ふんげい

### 金山杉俳句会報 第四六八回

### かねやま紅風会

星川 キエ子  
蹲踞に落ちて巡れる紅楓  
秋清か生活の音聴き別れかな

岸 あき子  
振り向けば佇む母に虫時雨  
翳雲大量のきざしと喜びぬ

高橋 洋子  
首垂れ稲穂出揃ふ里の秋  
翳す手に止り翅打つ赤とんぼ

鶴沼 よし子  
神室山裳裾をばかしに蕎麦の花  
手間暇も地馳でありし栗御飯

阿部 一代  
刈り終し稲の匂ひに深呼吸  
艶やかな芒の穂揺れ遊歩道

栗田 弥超  
三峰に紫雲耀ふ豊の秋  
清流に彩り添えし大花野

荒屋 阿部 勝子  
早朝や秋の香りを深呼吸  
今年米朝餉の香り噛みしめる  
惜みつつ帰らぬ友へ花添へし

菅越 庄司 けみ子  
子供等と遊ぶ狭庭の秋桜  
短日や朝の出勤急ぐ道  
梨を剥き送る主を思ひ出し

七日町 青柳 キエ子  
秋晴や空は私の自由席  
コスモスの花にも似たり母の顔  
我恩師遺影笑えむ秋彼岸

七日町 柴田 栖静  
秋風やそそる旅路の夢を追ふ  
散る萩に心も和む宝円寺  
川風に揺れて遊ぶや花すすき

上 台 阿部 一步  
早々と出羽の鳥海雪便り  
芭蕉曾良歴史めぐりの秋の旅  
腰痛を出湯に癒す山紅葉